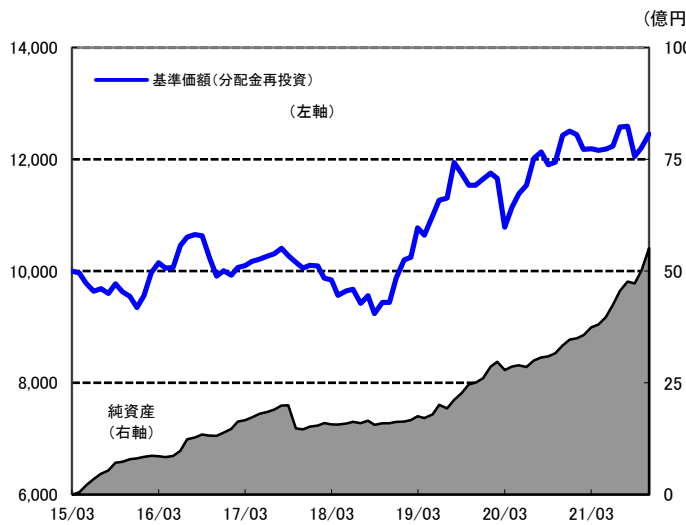


運用実績

2021年11月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 12,440 円

※分配金控除後

純資産総額 55.1億円

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1か月	2.0%
3か月	-1.1%
6か月	2.2%
1年	0.2%
3年	32.0%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

年	分配金
2020年12月	5 円
2019年12月	5 円
2018年12月	0 円
2017年12月	5 円
2016年12月	0 円

設定来 24.6%

設定来累計 15 円

設定来=2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ノムラスマートプレミアムマザーファンドの資産内容

2021年11月30日 現在

資産別配分(純資産比)

		現物	先物	合計
株式	先進国株式	2.6%	-10.1%	-8.1%
	日本	0.0%	-4.6%	-4.6%
	北米	2.6%	6.1%	8.7%
	欧州	0.0%	-14.5%	-14.5%
	アジア(除く日本)	0.0%	2.4%	2.4%
	その他	0.0%	-	0.0%
	新興国株式	0.0%	0.5%	0.5%
債券	先進国債券	41.0%	32.4%	73.4%
	日本	11.0%	4.2%	15.2%
	北米	3.0%	-6.0%	-2.9%
	欧州	8.5%	63.0%	71.5%
	アジア(除く日本)	0.0%	-28.8%	-28.8%
	新興国債券	6.0%	-	6.0%
	物価連動債	6.1%	-	6.1%
事業債等	6.2%	-	6.2%	
リート	2.0%	-	2.0%	
商品	4.5%	-	4.5%	
短期金融資産	49.9%	-	49.9%	
合計	100.0%	22.3%	122.3%	

- ・先進国、新興国の区分は野村アセットマネジメントによるものです。
- ・株式、新興国債券、物価連動債、事業債、リート、商品への投資はETFを含みます。

実質通貨配分(純資産比)

通貨	比率
先進国	
円	96.5%
米国ドル	16.1%
カナダドル	2.3%
ユーロ	-3.6%
イギリスポンド	-1.6%
オーストラリアドル	-2.7%
スイスフラン	0.1%
スウェーデンクローナ	2.6%
ノルウェークローネ	-1.7%
その他	-5.4%
新興国	-2.6%
合計	100.0%

- ・実質通貨配分は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。
- ・その他には、米国ドル建てETFを含みます。
- ・新興国には、現地通貨建て新興国国債ETF、新興国株式指数先物、台湾株式指数先物の投資比率を含みます。

リスク特性値

デュレーション	15.4年
---------	-------

- ・デュレーションは、組入債券(現金を含む)のデュレーションを、その組入比率で加重平均したものです。野村アセットマネジメントによる推計値です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、株式、債券およびREIT等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落、金利変動等による組入債券の価格下落、組入REITの価格下落や、組入株式の発行会社、組入債券の発行体および組入REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、実質的な取引対象とする商品等取引固有の要因により、基準価額が下落することがあります。また、世界各国の株式・債券・REIT・商品・通貨等への実質的な投資によるロング・ポジション、あるいは有価証券先物取引等および為替予約取引等の売り建てによるショート・ポジションを構築することにより、実質的な投資対象市場の方向性によらず収益の獲得を目指しますので、実質的な投資対象市場が上昇した場合でも、収益が得られない場合や損失が発生する場合があります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、基本報酬額に成功報酬額を加算して得た額とします。 【基本報酬額】 ファンドの純資産総額に年0.99%(税抜年0.90%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ※ファンドが実質的に投資対象とする上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示しておりません。 【成功報酬額】 運用実績に応じた額(一定時点毎の基準価額が過去の一定時点における最高値を更新している場合のみ)とします。 ※成功報酬額は運用実績により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社>野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

先月の投資環境

○株式市場では、日欧では株価指数が下落した一方、代表的な株価指数であるS&P500指数が上昇するなど、米国株の優位が目立ちました。債券市場では、日米独の長期国債利回りが低下(価格は上昇)しました。特に、米国やドイツにおいては長期年限の金利低下が顕著であったため、長短金利差が縮小しました。為替市場では、円や米ドルに対して多くの通貨が下落しました。

○初旬に、ECB(欧州中央銀行)のラガルド総裁が2022年の利上げ可能性について否定的な発言をしたこと等を背景に、欧州では長期金利低下と株価上昇が生じました。下旬には、バイデン米大統領がパウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長を再任する方針を示したことにより量的金融緩和縮小の進展が意識されたことで米国を中心として世界的に金利が上昇(債券価格は下落)、株価は下落する動きが見られました。月末にかけては、新型コロナウイルスの新たな変異型であるオミクロン株の発見を契機に世界的に株価が下落、金利も低下しました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ファンドの基準価額騰落率：月間の基準価額騰落率(分配金再投資)は+2.03%でした。寄与の内訳は、株式+1.06%、債券+0.64%、為替+0.40%、オルタナティブ(リート・商品)-0.10%、その他要因(信託報酬・取引効果等)+0.03%です。

株式戦略では、投資比率を月平均13%弱の売り持ちとした配分効果は限定的でした。相対的に好調な北米を買い持ちとして欧州を売り持ちとした地域配分効果や、北米において上昇したナスダック100指数を買い持ちとした市場選択効果がプラスとなりました。

債券戦略では、デュレーション※を月平均12年弱とした配分効果がプラスとなりました。また、米国において短期を売り持ち、長期を買い持ちとする年限構成を指向した効果もプラスとなりました。

為替戦略では、月平均2%弱の買い持ちとした外貨の配分効果は限定的でした。米国ドルを買い持ちとしてユーロ等の欧州通貨を売り持ちとした外貨選択効果がプラスとなりました。

オルタナティブ投資では、投資比率を月平均+5%強とした商品、同+2%強としたリートへの投資効果はいずれも軽微なマイナスとなりました。

○株式： 実質組入比率は11月末時点で-7.5%と、前月末で4.7%ポイント引き上げました。地域配分では主に北米、アジアを引き上げました。

○債券： デュレーションは11月末時点で15.4年と、前月末比で7.3年長期化しました。長期化の対象は主として欧米です。

○為替： 外貨比率は11月末時点で+3.5%と、前月末比で2.1%ポイント引き上げました。外貨では、米国ドルの買い持ちを拡大しました。

○オルタナティブ： 11月末時点での投資比率は、商品を+4.5%、リートを+2.0%としました。

※デュレーションとは、金利がある一定の割合で変動した場合、債券の価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいくほど金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

今後の運用方針 (2021年12月3日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○想定する投資環境

米国における量的金融緩和縮小の開始や、低調な中国景気、インフレ率の高位滞留が市場の重石となって株式等のリスク資産の上値が重く、一方で長期金利が低下しやすい環境を想定します。やや長い目線では、インフレ懸念の一因となっていると思われる足もとのエネルギー価格急上昇が一段落すると考えられることや、経済指標の鈍化が短中期年限の金利上昇に歯止めをかけ、株価が安定を取り戻すと考えます。米国債券市場で台頭しているFRBによる資産買入れ縮小の前倒しや、それから間もない利上げの観測は、2022年以降弱まることを想定しています。

○株式： 現状程度の低い実質組入比率を維持する方針です。

○債券： デュレーションを現状程度の水準に維持する方針です。長短金利差縮小を想定した戦略は縮小する意向です。

○為替： 実質外貨比率を現状程度に維持する方針です。

○オルタナティブ： 商品投資において金や農産物ETFへの投資を続ける方針です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

ノムラスマートプレミアム(野村SMA・EW向け)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。